

# 圏域発展に向けて

## 2市4町が力を合わせる

### 一回定住自立圏市町長会



連携に向け力を合わせる関係市町長

当市とつがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の2市4町は、人口減少が急速に進む中、圏域全体の活性化を図ることを目的とする定住自立圏構想の推進に向け、11月16日、第1回定住自立圏市町長会議を開催しました。

当圏域では、すでに広域連合や一部事務組合により、医療、消防などの様々な分野で連携しています。また、通勤や通学、通院、買い物など圏域住民の日常生活の面でも、強く結びついています。これからは、現在連携している分野を充実させるとともに、圏域全体の発展に向け、公共交通ネットワークの形成や観光をはじめとする産業振興、子育て支援をはじめとする福祉分野での連携を目指します。

### 観光庁長官表彰受賞

今年2月、ブラジル・サンパウロで行われたカーニバルに大型立佞武多復興祈願「鹿嶋大明神と地震鯨」を出陣させた当市の取り組みが、日本の伝統文化の認知度向上に貢献したとして、第7回観光庁長官表彰を受賞しました。

10月1日に国土交通省で行われた表彰式には、三上副市長が出席し表彰を受けました。

10月15日、市役所で行われた報告会には、山崎淳一五所川原商工会議所会頭、寺田春一五所川原市観光協会長が出席。表彰式に出席した三上副市長から、表彰式の様子が報告されました。

平山市長は「表彰は立佞武多をここまで育てた市民皆さんのおかげ。地域活性化に向け、さらに躍進したい」と話しました。



表彰状と記念の楯を手に受賞を喜ぶ関係者

### 青山まつり出陣

東京・青山で10月30日から11月1日にかけて行われた「青山まつり」の会場に、当市のPRのため立佞武多が参加しました。

明治神宮外苑前に展示されたのは、高さ約11mの中型立佞武多「和籐内」と今年8月の五所川原立佞武多でも運行された、ファッションデザイナーのコシノジュンコさんのキャラクターをモデルとした高さ約6mの「JUNKOねぶた」。高層ビルの立ち並ぶ街並みの中、日没後に点灯した立佞武多はよく映え、多くの通行人が写真を撮るなど、注目を浴びました。

10月31日に行われた、明治神宮外苑前から表参道までの「青山ワールドパレード」には、コシノさんも参加し、離子方による「やってまれ」の掛け声とともに「JUNKOねぶた」が運行されると、沿道に詰め掛けた観客から大きな歓声が上がりました。



青山ワールドパレードで練り歩く参加者ら